

そのことを教漫して將來の幸ひのためによつて及ぶのみならず、

十三、

然し、私達はこの点だけは断言しませぬ。と人々に爭議が不利に終るにせよ、と罷業中の日給だけは必ず取つて見せる。と、何故かと言ふはこの罷業中の日給はどこの爭議でも皆会社から解決の際必ず出すことに一般的に成つてゐるのでありますから

左様に若し家の方が立腹なされるやうなことがあつても私達は私達の考へや今の世の中の一一般のしきたりを述べて皆ご主人の決断に極力家の方は了解を願ひ先して合意して載ります。ですから如何うも若し自分が爭議団に加はる方がいゝとお思ひの方は思切つて爭議団に来て下さい。

一四、

又、家内が反対する誤りは無いが、会社の専ら役員や部長やその他の会社が盛つてゐる人夫達がこゝから、爭議団にやりの巾がぬと言ふ小様存人がゐるか